

使用上の注意

- ・投影は、夜間あるいは照明を落とした暗い場所で行ってください。リア投射は200ルクス以下、フロント投射は100ルクス以下が目安です(3000ルーメンのプロジェクターを50インチサイズに投影した場合)。
- ・貼り付けは平らなガラス板に行ってください。すりガラス、金網入りガラスには貼り付けできません。また、アクリル樹脂板に貼り付けますと、フィルムとの間に気泡が生じます。
- ・シンナー、灯油等の有機溶剤と接触すると変質の恐れがあります。
・屋外など、紫外線に長時間晒される場所は避けてください。
- ・フィルムの汚れは、スポンジと薄めた中性洗剤で落としてください。布は傷がつきますのでお避け下さい。
- ・貼り付け方は付属の説明書をご覧ください。

透明スクリーンフィルム 貼り方

用意するもの

いずれもホームセンター等で売っているものです。

- (1) 霧吹き(薄い中性洗剤液入り)
水を大量に使用します。1ボトル当たり1～2滴の中性洗剤を入れて混合してください。
- (2) スクイージー
- (3) 水切り用ヘラ
- (4) スケールとマスキングテープ(弱粘着)
- (5) タオル

手順

- (1) 濡れを防止するためガラスの下にタオルを敷きます。
- (2) 貼り付けるガラスに、べたべたになるまで霧吹きを吹き付けます。
- (3) タオルでふき取り、汚れを取ります。
- (4) 上記を2～3回繰り返します。
- (5) スケールで長さを測り、マスキングテープで貼る位置に記しを付けます。
- (6) 貼り付け場所より少し広い範囲まで、十分霧吹きを吹きかけます。
- (7) スクリーンの保護フィルムを剥がしながら、剥がした面に霧吹きを十分吹きかけます。
- (8) スクリーンをガラスに貼ります。この時ガラスとの間に気泡が入らないようにします。
- (9) 剥がした保護フィルムをスクリーンの上に敷きます。
- (10) スクイージーを使い、中央から周囲に押し出すようにして気泡と水を抜きます。
- (11) さらに気泡と水を完全に抜くため、スクイージーに強い力を掛けます。
- (12) 保護フィルムをはがし、タオルで余分な水分を拭き取ります。
- (13) 数日待つことで、余分な水分は抜けていきます。

注意

- ・貼り付け時には、フィルムの端で手を切らないようにご注意ください。
- ・本製品は屋内専用です。貼り付けは屋内側にしてください。
- ・あらかじめ飛散防止フィルムが貼られていないことをご確認ください。
- ・すりガラス、凸凹ガラス等、平らでないガラスに貼ることはできません。
- ・ワイヤー入りガラスは、温度上昇でひび割れる可能性があるので避けてください。
- ・アクリル板への貼り付けは、スクリーンとの間に気泡が生じますので使用できません。
- ・ハードコート処理を施しておりませんので、表面をこするなどしないでください。